受賞件名

グランドピアノの音色と機能を持つ アップライト型グランフィールピアノ

受賞者

有限会社藤井ピアノサービス
藤井 幸光

音楽を志す子供たちに夢や希望を与える一人の匠（たくみ）による歴史的発明

藤井 幸光

受賞理由

- 200年にわたり改良による機能追加がなされていないことをよく認識した上で、期待される機能を新たに開発し、ユーザーに低価格で提供することを実現。
- 商店街の様々な立場や分野の人々がフラットにアイデアを出し合って協業することにより、現場発の世界技術が誕生した好事例。

受賞メッセージ

内閣総理大臣賞という最高賞を頂き厳粛に受けとめております。受賞が決まった時は「やった！」と思いましたが、日が経つにつれ賞の重みを感じ、将来に対しての期待も込めた賞ということで身の引き締まる思いです。さらなる性能の向上と普及に全身全霊を傾け、努力・精進していく所存です。

藤井氏は、地元でピアノコンクールを開催し、普段の練習通りに演奏できない子供が非常に多いことに気付いた。また、歴史的楽曲の多くがグランドピアノでの演奏を前提に作曲されており、音楽大学の入試で実力を発揮できない子供が多くいることも知った。

これは、アップライトピアノでは、連打機能を必要とする楽曲を練習できないこと、前腕の筋肉の使い方が異なることが、原因となっている。今回の受賞案件の「グランフィールピアノ」は、アップライトピアノの機構に連打機能を付ける改良を行い、子供たちが音楽の才能を伸ばす手助けとなる歴史的発明である。

グランドピアノのようなアップライトピアノ

弦を水平方向に張っているグランドピアノは、弦をたたいたハンマーが重力で自然に戻るため、弦を離れるのが速く、力の抜き加減に応じて鍵盤が戻る。一方、弦を垂直方向に張っているアップライトピアノは、弦を離れるのが遅く、鍵盤から指を離さないと鍵盤が戻らない。この機構上の違いが、先に述べた課題の根源である。

従来は、ハンマーと鍵盤の連動性を高める改良が行われてきた。これに対してグランフィールピアノは、2つの「装置」を加えた全く新しい機構で、第三のピアノと呼ぶにふさわしい。

装置の一つは、ハンマーと弦の間でハンマーをムチのようにしならせて、弦を鋭くたたく動作を実現している。もう一つは、ハンマーを押し戻すスプリングで、力の加減に応じて鍵盤が戻るように調整されている。これにより、世界で初めてアップライトピアノに連打機能を取り付けることに成功した。

エコシステムの広がりと新たな発明への期待

プロピアニストからは、弾いている感覚も極めてグランドピアノに近いと評価されている。技能習得に関する調律師からの問い合わせも相次いでおり、徐々に市場に浸透し始めている。

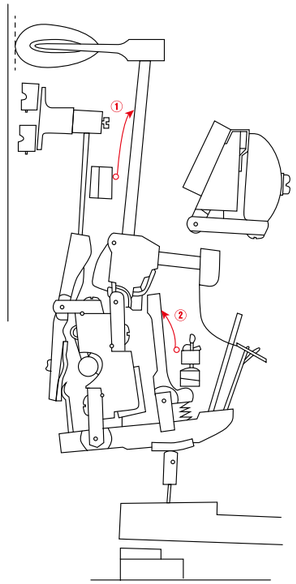
既に国際特許を取得しており、今後は海外での展開も期待される。一方で藤井氏は、既に新たな発明に着手しており、匠の次なる一手も期待される。

次世代を担う子供たちへの歴史的発明

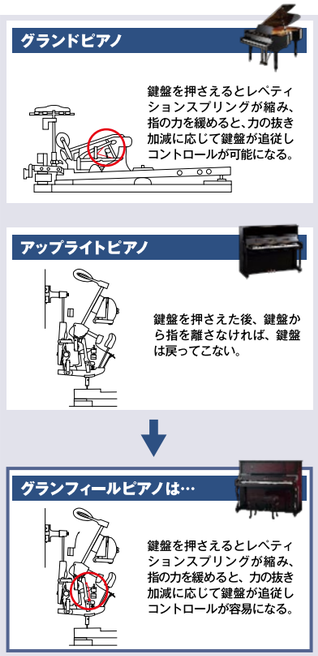
ピアノにはグランドピアノとアップライトピアノの2種類がある。グランドピアノは1821年に機能上、連打機能（レペティション）が発明されたが、コンパクトな利点を生かし家庭用練習ピアノとして普及したアップライトピアノは1800年に発明されて以来、連打機能（レペティション）を有していなかった。

●グランフィールピアノの構造

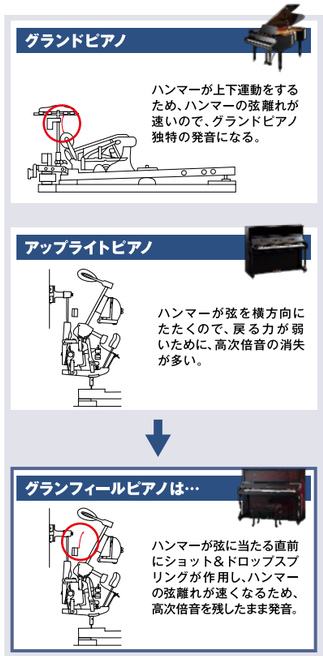
グランフィールは、①のショット＆ドロップスプリングと②のレペティションスプリングで構成されています。スプリングの加減で弾き手の要望に応えることができます。



●表現力向上



●音質向上



会社概要

商　　号：有限会社藤井ピアノサービス
設　　立：平成元年
従業員数：3名
事業内容：国産ピアノからヨーロッパの高級ピアノまで取り扱うピアノの専門店。小売をはじめとし、調律・修理、オーバーホールも手掛けている他、「グランフィールピアノ」で特許を取得し、製造・販売を行っている。

お問い合わせ先

有限会社藤井ピアノサービス
代表取締役　藤井 幸光
鹿児島県薩摩川内市西向田町15-11
TEL 0996-25-3320
E-mail　fujiipiano@po5.synapse.ne.jp
http://www.fujiipianoservice.jp/